

平成30年6月28日
宮城由美子（29期・昭和53年卒）



この頃気になったこと、好きな場所、やりたいことなど。

気になったこと：「赤山健児の歌」について

赤山健児の歌と言えば、松江高校の校歌だったと知ったのは、東京双松会の総会で歌うようになったからですが、ちゃんと一緒に歌えています。

もしかして皆さんご存知かもしれませんが、実は一中の応援歌として歌っていたんです。初めて一緒に歌ったとき、あれ？これって一中の応援歌だよ、と。

ところが、今回「赤山健児の歌」の歌詞の解説を読み、こんなに難解な歌詞が本当に一中の応援歌だったのだろうかと思いついて気になって・・・

確認してみようと思い、探してみました。

松江にいればすぐにわかったのですが、手元には中高ともに卒業アルバムもなく、思い出の品は実家。ネット検索でも出てきません。同級生も、なんとなくのうろ覚え。

ようやく、大阪に住む一つ下の後輩が見つけて連絡をくれました。やはり一中が赤山に在った時の歌でした。「朝な夕なに仰ぎみる きよく日（旭日）燦たる 二本松」に始まり、最後は「たてや赤山 一中生」と、さすがに中学生にもわかりやすい歌詞になっていました。

「赤山健児の歌」は歴史的背景を踏まえた奥深いものでしたが、「朝な夕なに」は赤山からの風景や学生の姿が目に見え、これはこれでいいなと懐かしく思いました。

好きな場所：「思い出を語る場所」

さて、懐かしいといえば、ここ数年、松江に帰るたびに立ち寄る場所があります。ちょっとしたBarなのですが、そこに行くといろいろな人に会えます。

そこは、松江カラコロ広場の近く、そして西洋軒の隣、JAZZ BAR “SIMS”です。

SIMS に行くと北高の同期や後輩によく会います。この間は、バスケット部の大先輩にお会いし、「先輩こわかったあ」なんて話をしていました。なんの約束もしていなくても誰かに会える、という感じです。

最初は飲み会の二次会や、同期や後輩と待ち合わせてという感じでしたが、最近では、松江に帰った時に一人でも立ち寄る場所になっています。

マスターが同級生（中学）ということもあり、話題に事欠きません。

映画の話で盛り上がり、「小さな恋のメロディ」の話をしていたら、ビージーズの曲が流



SIMSでのマスターと友人



れていたり、ドラマ「赤いシリーズ」の話をしていると山口百恵の曲が流れ、皆で口ずさんだり。もちろん、普段はマスターがその日に選んだJAZZのながれる心地良い空間です。

北高29期、もうすぐ還暦を迎えます。来年還暦同窓会をやりたい、やろうという話もちらほら。松江で集まって、二次会はSIMSで語りたいたいと思います。

やりたいこと：「オーロラを見たい！」

還暦、定年、やりたいこと行きたいところと考えていたら、まず浮かんだのが、足腰元気なうちにもう一度オーロラを見たい！でした。

数年前に、一度フィンランドに行きました。どうしてもオーロラの写真が撮りたくて。

オーロラは見られなかったという話もよく聞きますが、なんと帰りの飛行機からを含め4回も見ることができました。

現地では、マイナス30度以下の夜中に、カメラを担いでオーロラポイントまで20分歩きました。出てきたオーロラにとっても感動し、写真を撮りっぱい撮りました。もっとすごいが見たいと思いましたが、寒さには勝てません。結局ゆらゆらと揺れる完ぺきなオーロラを撮ることはできませんでした。

オーロラと私



完ぺきなオーロラを撮影したい。感動をもう一度！

最近気になったことや、好きな場所、思うことなど書いてみました。ぜひ、皆さんのお気に入りの場所や、やってみたいことなども教えてください。仲間が集まり情報交換などできるかもしれませんね。

ブラウザの左上の<←>に戻って下さい